

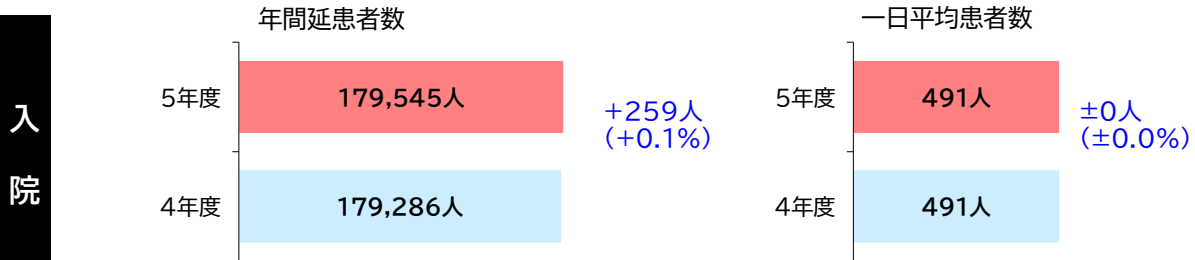
# 令和5年度予算案の概要

令和5年度予算においては、新型コロナウイルス感染症（以下、新型コロナ）患者受入を継続しながらも、一般診療を極力制限しない方針であることから、新型コロナに対応する病床の確保に応じて交付される補助金の減少を見込み、収益的収入全体では13.9億円の減少としております。収入から給与費や材料費などの支出を差し引いた収益的収支差引は0.9億円の純利益（黒字）を見込んでおります。

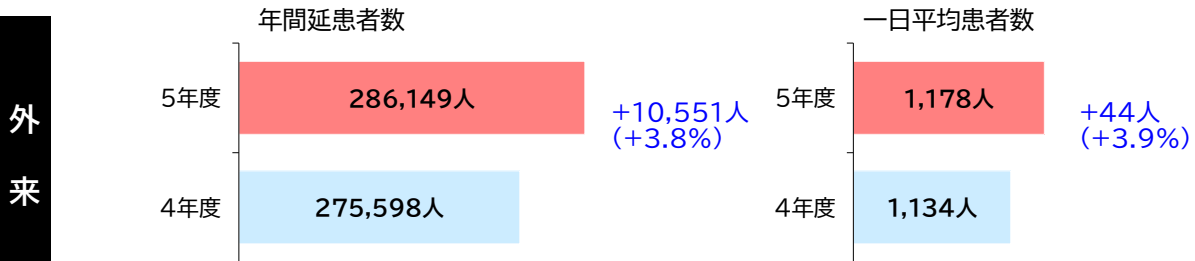
資本的支出については、令和4年度に見込んでいた総合医療情報システムの更新経費がなくなることから、建設改良費で16.5億円減少する一方、一般会計からの長期借入金償還金を25億円計上していることから、資本的収支差引は35.1億円の不足を見込んでおります。

なお、これらの収支差引に、現金を伴わない収益と費用等を加味した資金状況は、令和5年度単年度としては20.8億円の資金残となり、過年度分と合わせた令和5年度末の資金残は16.7億円を見込んでおります。

## 1 年間延患者数と一日平均患者数(当初予算比較)

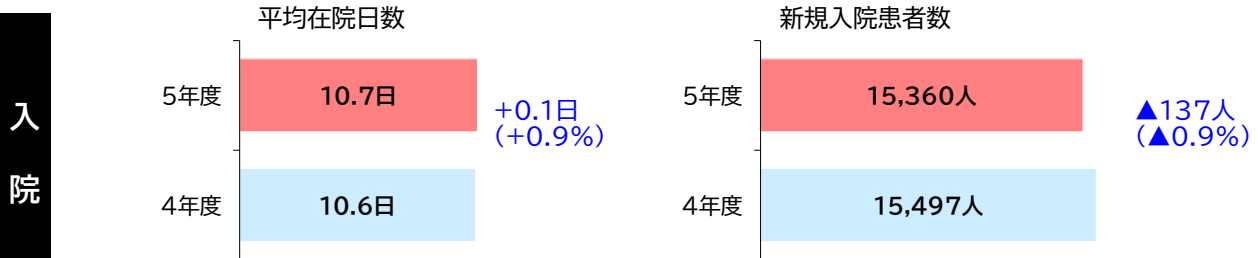


● 5年度は、4年度の決算見込などを踏まえ、年間延入院患者数は259人の増加を見込んでおります。



● 5年度は、4年度の決算見込などを踏まえ、年間延外来患者数は10,551人の増加を見込んでおります。

## 2 平均在院日数と新規入院患者数(当初予算比較)

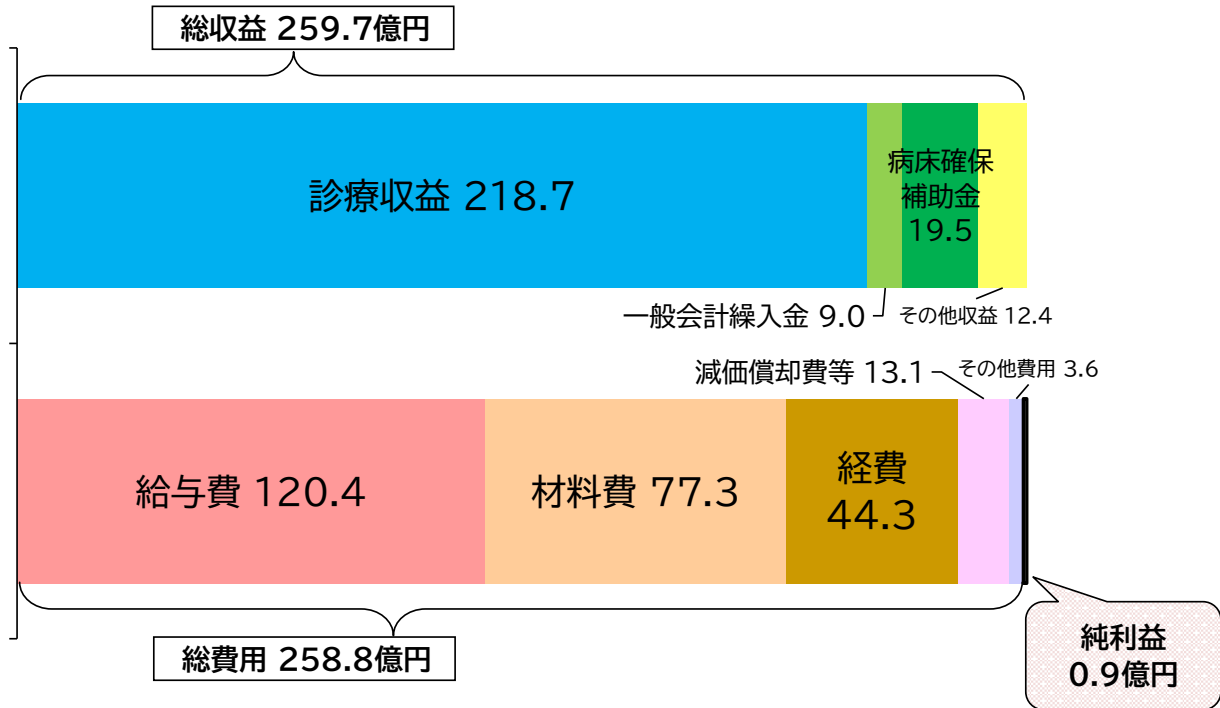


● 5年度は、平均在院日数では0.1日の増加、新規入院患者数では137人の減少を見込んでおります。

### 3 財政状況(税込)

※1千万円単位で表示しているため、総額とその内訳の合計が一致しない場合があります。

#### (1) 収益的収支(税込) <経営に伴って生じたすべての収益とそれに対応する費用⇒1年間の経営成績>



#### 【前年度との比較】

##### <総収益>

対前年度 ▲13.9億円(▲5.1%)

##### <総費用>

対前年度 ▲0.1億円(▲0%)

##### <内訳>

○診療収益 対前年度 ▲2.5億円

高額薬品を使用した治療の減少等による。

○繰入金 対前年度 ▲0.3億円

○病床確保補助金 対前年度 ▲11.0億円

極力一般診療を制限せず、コロナのために休止する病床を減らしていくことによる。

○その他収益 対前年度 ▲0.2億円

○給与費 対前年度 +1.5億円

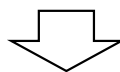
○材料費 対前年度 ▲2.9億円

高額薬品の使用減等による。

○経費 対前年度 +2.1億円

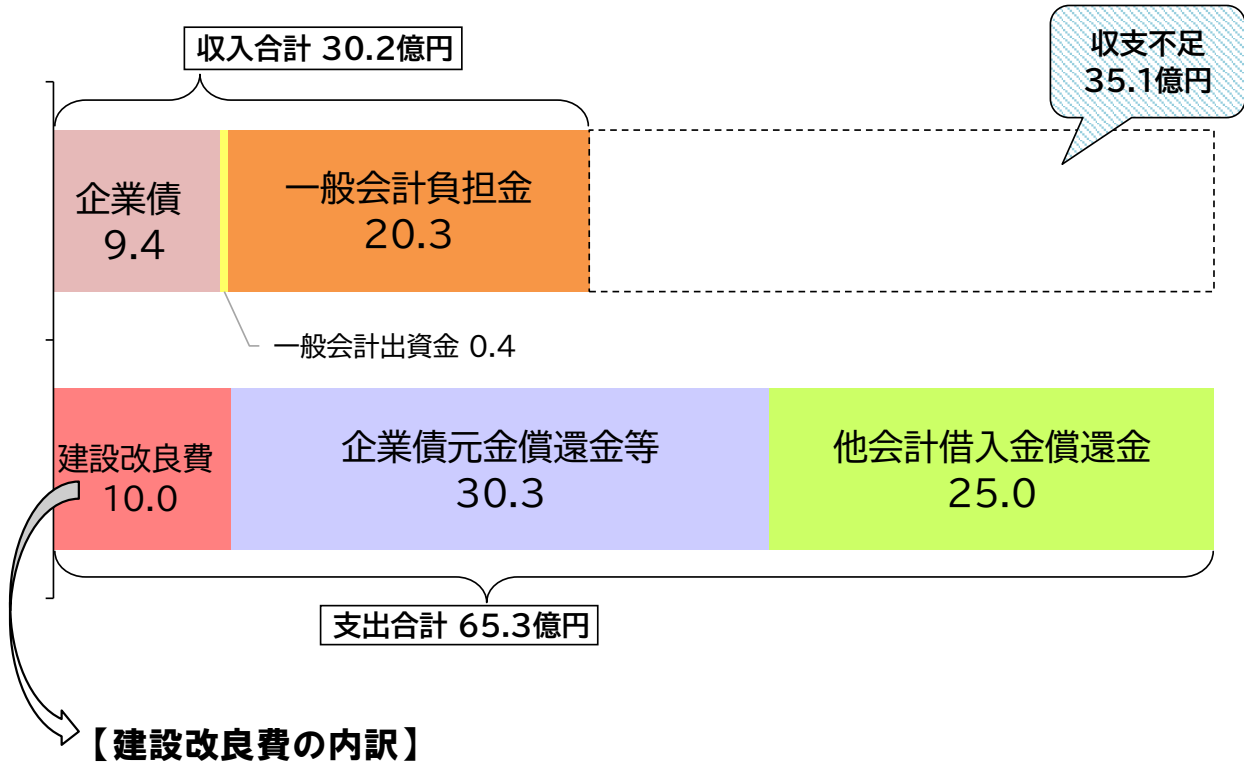
○減価償却費等 対前年度 ▲0.1億円

○その他費用 対前年度 ▲0.7億円



収益的収支は前年度から13.8億円の悪化

(2) 資本的収支(税込) <建物や医療器械などの整備費用とその財源、借入金の返済など>



- 病院整備費 3.6 億円 電話交換機更新工事ほか
- 医療器械購入等 6.4 億円 超電導磁気共鳴画像診断装置ほか

(3) 資金状況

当年度収支	▲34.2億円
(収益的収支0.9億円+資本的収支▲35.1億円)	
+	
損益勘定留保資金等(現金を伴わない収益と費用等)	55億円
当年度分資金残	20.8億円
+	
過年度内部留保資金(前年度までの資金残)	▲4億円
年度末資金残	16.7億円